

# 星空の世界展 鑑賞シート

Starry Nights

空をみあげてみましょう。  
毎日みていると地球が太陽系の惑星であり、  
広大な宇宙に存在している奇跡の星であることが  
実感できます。星空は宇宙への扉！  
さあ、星空の世界へ、旅にでましょう！



ぶちシャロロック

📷 「KAGAYA 星空の世界展」の撮影について  
写真作品 OK 動画撮影はできません。  
映像作品の撮影はできません。

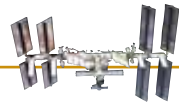
🚫 写真作品はデリケートです。触らないように  
気をつけてごらんください。  
ほかのお客様と作品へのマナーを大切に。

## KAGAYA さん

地球から  
宇宙を撮影



地球



国際宇宙ステーション  
(地上 400Km)

ハッブル宇宙望遠鏡  
(地上 570Km)



ジェイムズ・ウェッブ宇宙望遠鏡  
(地上 150 万 km)  
太陽 - 地球系の第 2 ラグランジュ点 (L2)  
(天体同士の重力が釣り合っているポイント)  
で観測。太陽と地球が人工衛星から見て同じ  
向きにあるので、太陽・地球に背を向けて常  
に深宇宙側を観測できます。



月までの平均距離は  
約 38 万 4400km

月

**注目！**  
「満月」

地球の衛星である  
月は、地球のまわりを  
同じ周期で 1 公転し、  
1 自転しているため、  
地球に対して常に同じ  
面を向けています。

だから  
いつもさきぎが  
いるんですね



**注目！**

「七夕の宵の天の川」

写真の中央の星が彦星  
(わし座のアルタイル)、  
写真上の星が織姫星  
(こと座のベガ)、  
左右に流れる光の帯が  
天の川です。

今年の旧暦の七夕  
(伝統的七夕) は 8 月 10 日

**注目！**

「オリオンの季節の始まり」

冬の代表的な星座「オリオン座」  
左の赤い星が 1 等星の  
ペテルギウス。  
太陽から木星の軌道を飲み込む程  
もある赤色超巨星です。  
右下の青い星はリゲル。



びよぶち

星空の旅  
スタート

限定グッズ

映像展示

**「銀河のほとりで」 注目！**

地球の裏側、ボリビアの  
ウユニ塩湖は短い雨季にだけ  
現れます。浅い水面は天空の  
鏡となります。

**注目！**

「銀河のはての南極光」

太陽からのプラズマが地球の大気に  
飛び込むことでオーロラが発生。  
南半球ニュージーランドに現れた  
オーロラに太陽光があたってピンク  
に染まっています。

**注目！**

「小惑星探査機はやぶさの帰還」

小惑星イトカワ探査の旅から戻ってきた  
「はやぶさ (MUSES-C)」。  
現在、「はやぶさ 2」が深宇宙への拡張  
ミッションを続行しています。

**注目！**

「アンドロメダ銀河」

私たちの住む銀河系の隣にある銀河です。  
距離は 250 万光年。天文専用のカメラで  
長時間光を集めて撮影しています。

**注目！**

撮影ドキュメント (映像)

KAGAYA さんの撮影のひみつを  
お見せします。

はなシャロロック



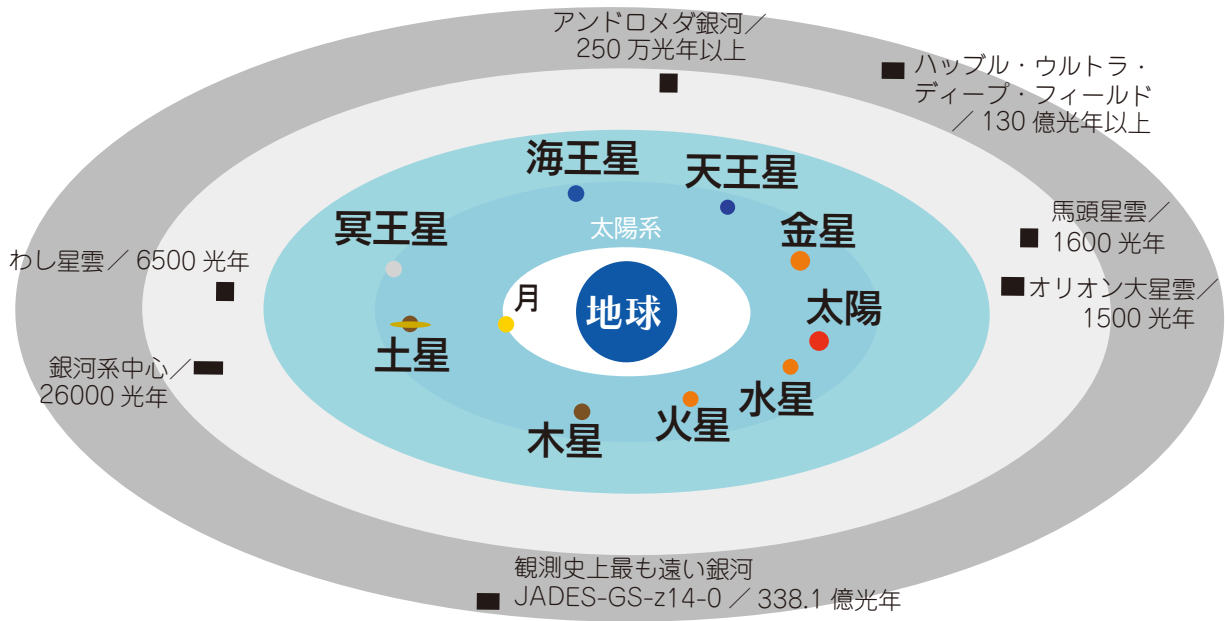
# 星空の世界展

Starry Nights

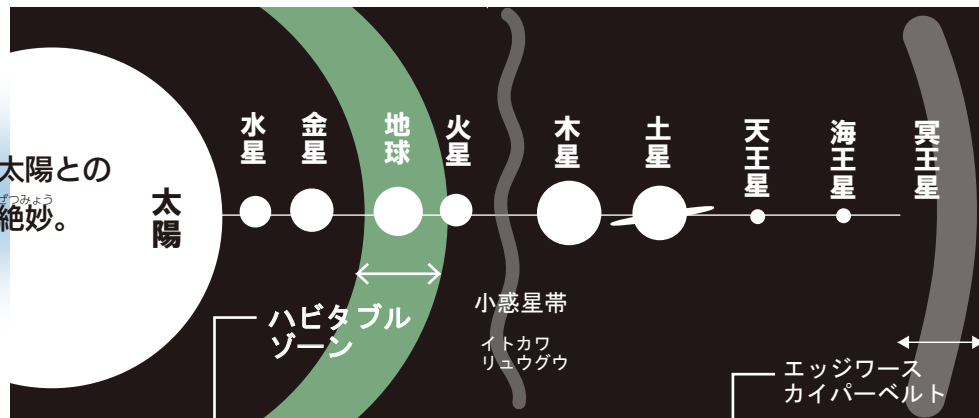
米沢市上杉博物館 2024. 6.29-9.1

## 地球から見た宇宙地図

距離や配置をイメージで示しています。



地球は太陽との位置が絶妙。



生物が生きることができる領域

太陽系の形成後に残された微惑星群 (太陽系にふくまれる)



太陽から地球までの距離を1とすると

※地球と太陽との距離は1億4960km=1天文単位 (au/Astronomical unit)

米沢市上杉博物館 × 米沢市児童会館

## 星空スタンプラリー

2024年6月29日(土)~9月1日(日)

米沢市児童会館プラネタリウムでは、会期中、KAGAYA プラネタリウム8作品の予告編をみることができます。両方見てスタンプをあつめよう！

星空グッズをもらっちゃおう！



80年に一度！  
かんむり座T星の再帰新星爆発をみよう！



くわしくは「AstroAtrs」へ